

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	小川町			
提案事業名	“広がる、繋がる、心地良さ”小川町魅力発信拠点整備事業			
事業期間	令和2年度			
事業の必要性、目的	長引く人口減少をしっかりと受け止め、そのスピードを緩やかに抑制していくためには、総合的なまちの魅力を高めるとともに、まずは本町を“知ってもらうこと”そして“足を運んでもらうこと”が重要となりますが、にぎわいの創出や交流人口増加の目安となる入込観光客数は、現在でも頭打ちの状態が続いています。駅前空き店舗を有効活用し、立地条件を最大限活かした魅力発信拠点として整備する本事業は、これまでの弱点を補い、本町での滞在時間の延長やリピーターの獲得、交流・関係人口の増加をもたらすと同時に、地域所得の向上や町の活性化、移住・定住人口の増加に繋がるなど、本町にとって必須の事業と言えます。			
成果指標	(成果を検証する指標) 入込観光客数及び移住サポートセンターにおける移住・定住マッチング件数			
	(成果検証の具体的な方法) ①令和3年度(1年間)の入込観光客数 ②令和3年度(1年間)の移住サポートセンターにおける移住・定住マッチング件数			
	(上記の指標を設定した理由) 本事業の一義的な目標は、まずは本町を“知ってもらうこと”そして“足を運んでもらうこと”であるため、本町への来訪者数を示す入込観光客数を成果指標として設定することが、直接的かつ住民にも分かりやすい内容であると考えます。また、移住・定住人口に“繋がる”ことを管理する指標としては、移住サポートセンターにおけるマッチング件数を把握することが最適であると考えます。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (H31年3月現在)	入込観光客数 740千人 (平成28～30年度平均実績値) マッチング件数 27件 (平成30年度実績値)	目標値 (R4年3月時点)	入込観光客数 750千人 (令和3年度) マッチング件数 32件 (令和3年度)
	(施設建設等の場合)			
年間利用者数(目標)(人)	12,500人	稼働率(目標)(%)	85% (営業日数)	
住民への公表方法及び特記事項	町公式ホームページへの掲載により公表予定			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① “広がる、繋がる、心地良さ” 小川町魅力発信拠点整備事業	ハード	28,162
②	ハード ソフト 間接補	
③	ハード ソフト 間接補	
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		28,162

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	運営主体を1団体とする総合的な魅力発信拠点とすることで、より強固な連携体制のもと、一体的案内の実現を目指します。なお、活用案の検討にあたっては、町職員からの提案募集をはじめ、町商工会や停車場通り商店会、住宅相談員等を対象とした現地見学会及び意見交換、更には、町民等の一般を対象としたリノベーション・ワークショップ等を通し、より多くの声に耳を傾けながら決定しました。
成果指標の達成見込み	駅から徒歩10秒という最高の立地条件を最大限活かし、来訪者を逃さず誘導することで輪を広げ、より強固な連携体制のもと一体的案内を実現することにより、成果指標の達成は十分可能であると考えます。